

標 題	松江農林高校生がトルコギキョウの現地圃場を見学
-----	-------------------------

(ダイジェスト)

5月9日に松江農林高校にて生徒2名にトルコギキョウの栽培研修を行いました。その際同校より現地で実際に栽培されている状況の見学と生産者の話を聞きたいとの要望が出され、くにびき花卉組合の組合長の圃場見学が実現しました。生徒は終始熱心に見学・質問を行い、予定された1時間では短すぎる結果となりました。

2名の生徒は花きの専攻生でトルコギキョウ栽培に取り組んでいますが、今回の現地見学では二つの課題について学びました（※ロゼットと土壌病害の発生状況と対策の実態把握）。

まずロゼットについては、これを防ぐために育苗中と定植前後に留意すべき事項について聞きました。同校ではロゼットの発生が大きな課題でありこの解決が急務となっているとのことです。

（※ロゼット：トルコギキョウでは育苗中の高温遭遇等の原因により本圃定植後も伸長生長しなくなる事があります）

一方で、彼らは研究プロジェクトとしてトルコギキョウの鉢栽培に取り組んでいます。これは土壌病害対策が目的で、無菌の用土を用いて生産の安定化を図る考えです。それだけに現場での土壌病害の実態について大きな関心を持っており、生産者の圃場での発生状況や土壌消毒の方法と効果等について熱心に聞いていました。これに対して組合長からは栽培者としての実際の対応と土壌病害による経済的な損失等について丁寧な回答がありました。

見学のテーマは以上の二つでしたが、生徒の情報収集意欲は旺盛で、質問は他の病害虫対策さらにはハウスの構造にまで及びました。結局、予定された1時間をオーバーしてしまいましたが、大変充実した内容となりました。今回の見学の成果が彼らのプロジェクトに大きく反映されることが期待されます。



花卉組合長から説明を受ける高校生と先生